

令和 7 年第 2 回明和町議会定例会一般質問事項

令和 7 年 6 月 5 日

1 9 番 齋藤 一夫 議員

1. 橋梁点検について

- (1) 町が管理する橋梁は何橋あるか。
- (2) 橋梁点検の頻度と内容は。
- (3) 橋梁接合部の町道整備の状況は。

2. 子育て支援について

- (1) こども園の紙おむつ・粉ミルクの使用状況は。
- (2) 紙おむつの購入助成の導入はできないか。
- (3) 粉ミルクの購入助成の導入はできないか。

2 2 番 奥澤 貞雄 議員

1. ふるさと納税の運用について

ふるさと納税の拡充は町の事業及びPRにつながる。また、関係人口の創出にもつながる。町の運用状況を問う。

- (1) ふるさと納税額及び人気のある返礼品等の現状は。
- (2) 他の自治体へふるさと納税された場合、町の税収は減額となる。町が実質的に利用可能な税額はどのくらいになるか。
- (3) 町はこれらの寄附金をどのように運用しているか。
- (4) 町は今後どのようなふるさと納税の拡充を推し進めていくのか。

2. 英語教育の充実について

小中学校の英語の授業にALT（外国語指導助手）を配置していることで充実した英語教育に取り組んでいる。

- (1) 現在のALTの授業時間及び授業内容はどのように決定されているか。
- (2) ALTは教育委員会で配置しているのか。
- (3) 放課後等の時間を使って、生徒や児童と英会話ができる時間をつくれないか。

3. 安心できる学校教育環境整備について

学校を取り巻く環境の変化により、色々な問題が複雑化し、事件につながるケースも出ている。

- (1) いじめ問題、不登校問題、子どもの精神的な問題、先生と保護者との関係など問題が複雑化している中、町の対応は。
- (2) 今後、スクールロイヤーや精神科医、警備員の配置など必要があると推察されるが、町の考えは。
- (3) 町で以前取り組んでいたスクールサポーターの現状は。

3 10番 島田 宏幸 議員

1. 企業誘致と雇用確保について

町は企業の参入が進んでおり、将来子どもたちが成長した時の働き口確保は順調に進んでいる。しかし、現在企業が抱えている慢性的な人手不足については解消していない。解消に向けた手段について検証が必要である。

- (1) 町の企業数は。過去と比較して増減は。
- (2) 今後、何社程度企業誘致が可能か。
- (3) 人手不足について、どのような認識か。また、労働力確保のため行っている事業は。
- (4) 雇用に関連する国や県の助成制度は。
- (5) 企業ガイダンスとは。
- (6) 参加企業の選定基準は。
- (7) ミスマッチ解消に向けた行政主体の取り組みは。
- (8) 雇用促進の支援強化は可能か。

4 8番 本澤 春江 議員

1. 健康づくりのための体育館利用について

町民の健康維持、増進がますます重要になる中、町民体育館の役割が注目されている。より良く利用してもらうために、誰もが使いやすい環境について質問する。

- (1) 明和町まちぐるみ健康宣言の中に「運動習慣をまちぐるみで目指します」とあるが、どのように取り組んでいくのか。
- (2) スポーツ振興都市宣言をしてからどのような取り組みをしてきたか。
- (3) 体育施設に空調設備が入ったが、どのように管理をしているか。
- (4) 今後利用者を増やすために、町はどのような取り組みをしていくのか。
- (5) 外国人の利用が増えているが、利用上のルール等をどのように説明しているのか。